

施工説明書

グローベン株式会社

プラド扉

各種共通

この度はプラド扉をご購入頂きありがとうございます。
ご使用前に本書をよく読み、下記の注意事項を守りご使用下さい。
また、本書は大切に保管しておいて下さい。
万一不具合、不明な点がございましたら、弊社までお問合せ下さい。

取扱説明書に記載する表示について

本書には安全に関する重大な内容を表記してあります。
表示と意味は以下のようにしております。



警告

- ・板材は熱によって伸縮します。板材同士を突き付けて設置しないで下さい。
- ・電動ドライバーを使用する場合は、トルクを弱にし、締め付けすぎないようにして下さい。
- ・アルミやプラスチックの切り屑は、自治体の条例に従って処理して下さい。
- ・事故や故障の原因となりますので、改造、仕様変更はしないで下さい。
- ・破損や事故の原因となりますので、製品によりかかったり、ぶら下がったり、ボールをぶつける等、強い衝撃をあたえないで下さい。
- ・製品の汚れは、必ず真水にて洗浄して下さい。ガソリン、シンナー等石油系溶剤や、薬品等で拭いたり、洗浄することは絶対にしないで下さい。



注意

- ・施工寸法に合わせて支柱部材、基礎寸法を選定して下さい。
- ・アルミ材等の小口や製品の切り口には切断時のバリが残ります。怪我をする恐れがありますので、取扱には充分気を付けて下さい。
- ・アルミ支柱の中にコンクリートやモルタル等を流し込まないで下さい。またアルミ支柱を固定する場合、コンクリートの急結剤などは使用しないで下さい。
- ・凍結防止の為、水抜き穴をあけて下さい。また、アルミ柱の中にスチロール等を入れ水が溜まらない様にして下さい。
- ・各製品のデザイン、価格等は予告無しに変更する場合があります。
- ・製品の特性上本製品は色差・色ムラがあります。

お手入れ

- ・普段のお手入れは、濡らした布でふき取って下さい。
- ・汚れがひどい場合は、中性洗剤を薄めてご使用下さい。
- ・表面のホコリ等は、柔らかいブラシ等で払って下さい。

日常ご使用して頂くお客様へ



- ◆樹脂製の板材は熱膨張により伸縮が発生します。
製品上の特性として、ご理解ご了承下さいませようお願い申し上げます。
- ◆日常のお手入れ、清掃には溶剤などは使用しないで下さい。



本社

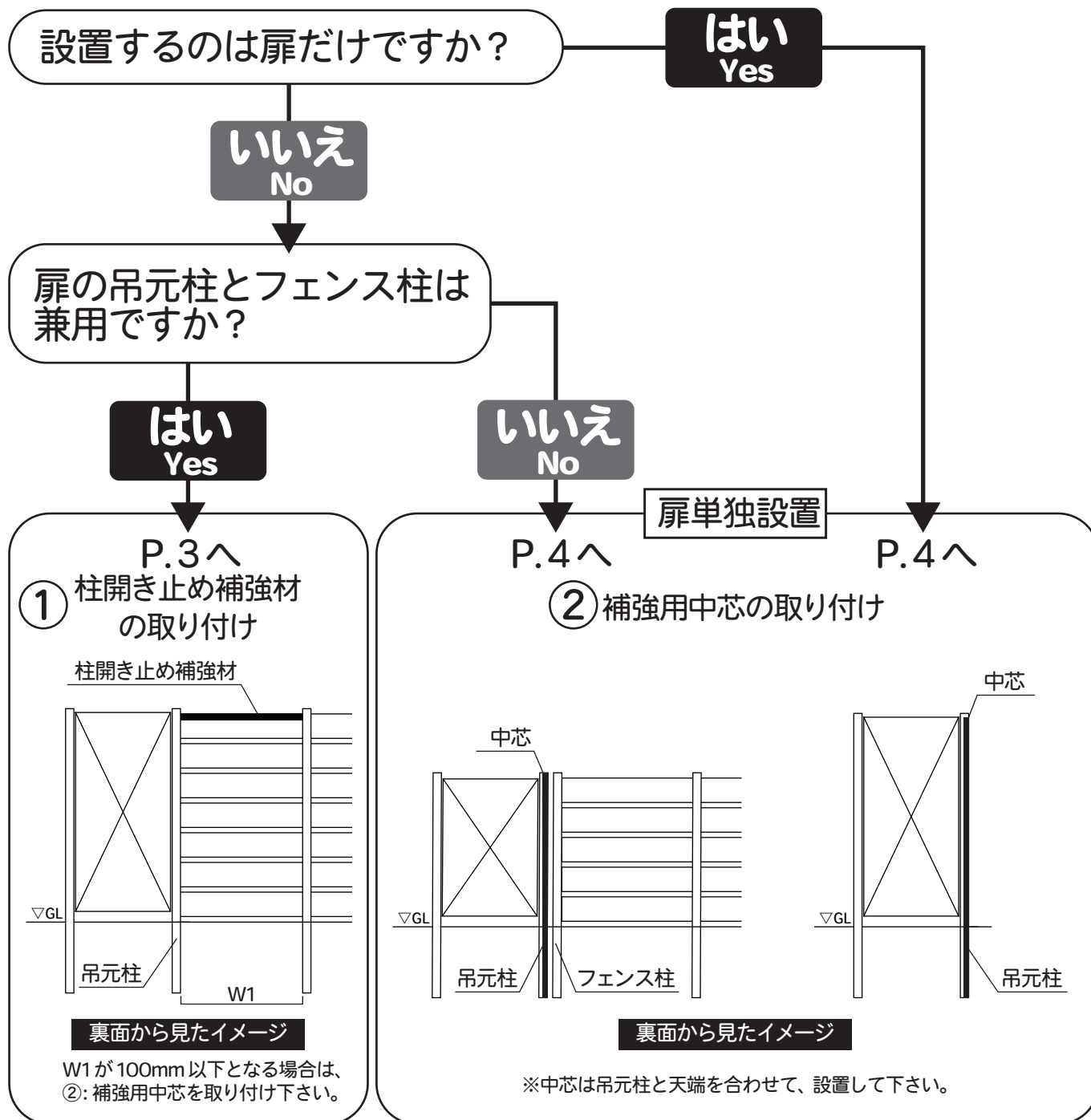
〒455-0025 名古屋市港区本星崎町字南3998-31

TEL:052-829-0800 FAX:052-829-0801

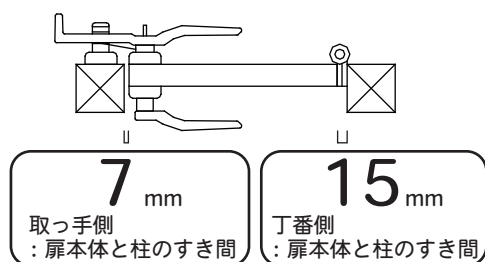
Email info@globen.co.jp

取付前にご確認下さい

■フェンスの有無などで、扉用の補強材取り付けが異なります。



■扉用の柱取付：クリアランス寸法



⚠ クリアランス寸法

22mm

扉本体 W 寸法（横幅）にプラス 22mm を扉を取り付ける柱の内々寸法として、柱を設置して下さい。

例：扉本体 W750 で 60 角柱の場合
柱芯々寸法 = 832mm
= 750: 扉本体 + 22: クリアランス + 60: 柱太さ

※扉本体寸法と柱寸法をご確認下さい。

取付手順

■梱包内容

- ・扉本体 ×1
- ・吊元柱用金具 ×2
- ・ストッパーリング ×2
- ・専用鍵
- ・取っ手受け部品 ×1
- ・戸当たり用セット ×1
- ・ターンナット 10本 ×1



吊り金具には左右があるため、開き方向の変更は出来ません。

■取り付け

吊元柱にターンナットで金具を取り付けます



扉本体 吊元柱



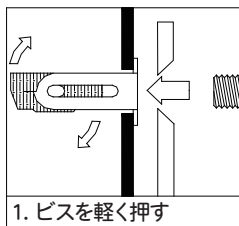
ピン上部の溝に、ストッパーリングを入れると扉が外せなくなります。



ストッパーリング

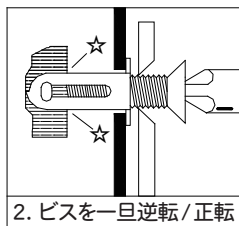
ペンチなどで、はさみ込むように取付して下さい。

■扉の取付：ターンナット使用方法



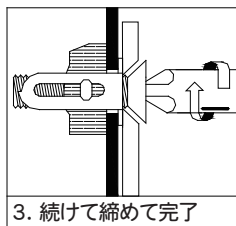
1. ビスを軽く押す

ターンナットを下穴に挿入した後、器材を当てがいビスを指で差し込みます。ビスを軽く押すと、ナットが回転します。



2. ビスを一旦逆転/正転

手廻しドライバーでビスを押しながら 1～2回逆転（左廻）し、そのまますぐに2～3回正転（右廻）して、ビスを軽くネジ込みます。



3. 続けて締めて完了

そのまま続けて締めつめます。

扉の丁番の位置に合わせて、柱に穴を開けます。

注3：扉の開く方向と丁番の向きに注意して取付けます。（径8.2mmドリルを使用）丁番をターンナットで取付けます。

① 柱開き止め補強材の取り付け



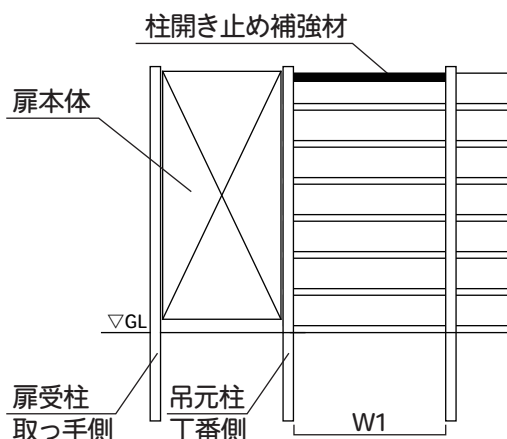
扉本体とは別売りです

梱包内容

柱開き止め補強材

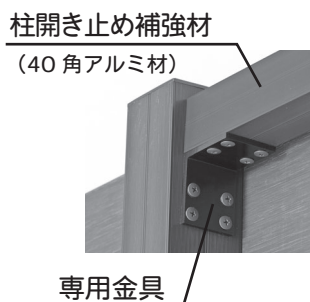
40角アルミ材×1本 ビス短×20本 L金具2個

アルミ長さは、L940です。扉サイズにあわせて、カットして下さい

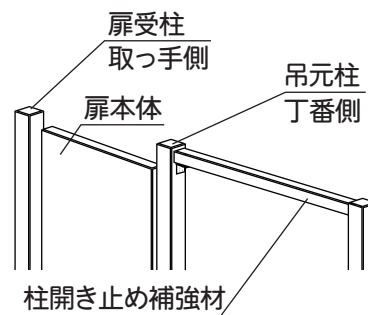


裏面から見たイメージ

別売りの柱開き止め補強材（40角アルミ材）の長さを確認して、専用金具とビスで、柱に固定します。



専用金具



全高が H1800 以上の場合や、W1 が 100mm 以下の場合、補強用中芯を取り付け下さい。
※中芯は吊元柱と天端を合わせて、設置して下さい。

取付手順

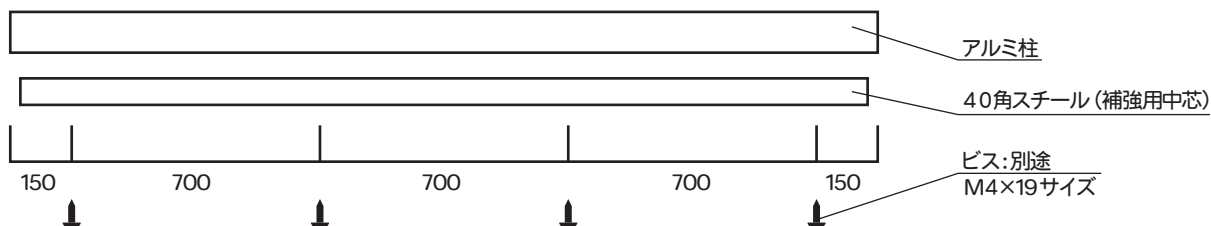
② 補強用中芯の取り付け



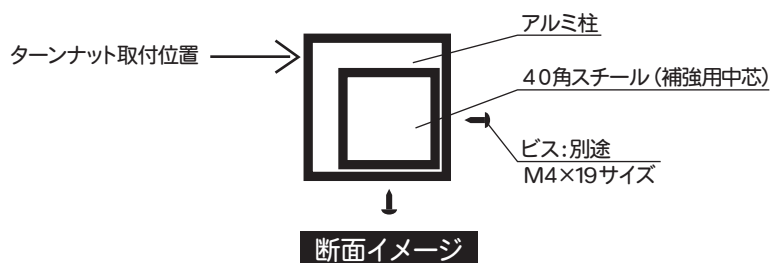
扉本体とは別売りです

梱包内容

吊元柱補強セット 40角スチール材×1本
ビス:8本は、柱色に合わせて別途ご用意が必要です

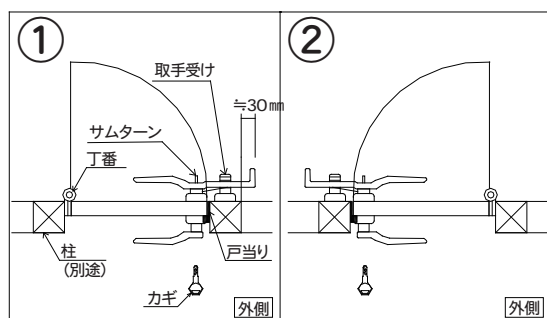


ビス間隔は参考目安です。



固定の前に貫通用の下穴を空けて下さい。下穴にドリルビス角材同士が引き寄せられ、密着するまで締めて下さい。

■扉の開きについて



- カギの内側にはサムターンがあります。
- 取手はロック時、扉より9.5cm出ます。



- ・扉の開きは変更できません
- ・サムターンは押しながら回して下さい
- ・カギは予備を含め3本付属です
- ・キーNo.をご記入下さい

キーNo.記入欄



付属の鍵で施錠



ハンドル下のツマミで施錠



レバーハンドルの動きをロック固定して、施錠する仕組みになっています。裏面の施錠はツマミを押しながら、回して施錠と開錠をします。戸当りりは開き止め(開き過ぎ)を防ぐ為に取り付けます。